

すべては 君の「知りたい」からはじまる



京都市立

堀川高等学校

2024

学校案内



すべては 君の「知りたい」からはじまる

La Gaya Scienza

疑問が発見を生み、一つの発見が新たな発見を呼び、
それらが集積されて知識となり、知識の体系が知恵に結晶する。
ひたむきに繰り返されてきた未知の扉を開こうとする人間の営み。
人類は「知る」ことによって生きてきた。



地球に誕生した直立歩行するヒト—火を用い、道具をつくり、言葉を使うことによって、ヒトは今まで生きてきました。身近な動植物の採取から始まり、狩猟、農耕、気象、天文、芸術、宗教、法律、経済、科学技術……人間を知り、自然を知ることで築き上げられてきた歴史の延長線上に、現在、わたしたちが立っています。学ぶことの厳しさを通して得られる喜びは、闇を恐れたヒトが火を得た時にも、収穫に胸ふるえた時にも、思索を言葉に表せた時にも、文字を発明した時にも、蒸気を操ることができた時にも、病気の人の頬に笑顔が回復した時にも、そして宇宙から地球を見た時にも、そこにいた人たちが体中で感じた喜びに通じるものではないでしょうか。21世紀を目の前にして、人類はさまざまな課題を抱えています。それらに取り組み乗り越えることが、過去から、そして未来から、わたしたちに与えられた使命です。すべては君の「知りたい」からはじまります。

1999年4月1日



中野 智彰

自然探究科 野球部
3期生
大阪大学 医学部 医学科
大阪大学 医学部附属病院

すべては君の「知りたい」からはじまる……

私がこの言葉の意味を深く理解したのは高校卒業後15年以上経過した後でした。私は大阪大学医学部に入学し6年間の大学生活の後、医師として勤務し始めました。医師としての職務は疾患メカニズムの理解、診療ガイドラインの把握から基礎的手技の習得、患者さんへの接し方まで多様なスキルを求められるため、大学卒業以来自分の診療技術の向上に努めました。しかし、このキャリアの中では主に研究者として活動する期間は無く、日常診療に没頭し時間が過ぎていきました。

そんな中、私は12年間医師として勤務してきた中でまだ診断・治療が不十分な領域を開発したい、医学・生物学の最先端の知識を深く学びたいという希望のもと、大学院での研究を志しました。一般的には大学院への入学時期として35歳は遅いとされる年齢です、実際研究者としてのキャリアが充実したものになる可能性は低いだろうと思います。しかし、知的好奇心はそういった事情には関係なく芽生えてしまうものです。

改めて、すべては君の「知りたい」からはじまる、に通じていたのだと実感しています。これは年齢も性別も職業も人種も関係なく、誰もが抱きうる共通のpassionなのだと思います。

これから高校、大学を経て社会に出る皆様には、知的好奇心を追究し続けて世界に変革をもたらしていただきたいと思います。



町田 奈緒士

人間探究科 吹奏楽部
6期生
奈良女子大学 文学部
京都大学大学院 人間・環境学研究所
名古屋大学

繋がりを直せる場としての堀川高校

同窓生との思わぬ縁から、実に10数年ぶりに母校を訪れた。玄関に入って真っ先に目に入る吹き抜けのアトリウム、金ボタンにタータンチェックの制服。令和の人であれば「エモい」と表現するような、文学好きの人であれば「マドレーヌを紅茶に浸した時」の感覚と綴るのかもしれない。とにかく様々な感情が押し寄せた。

私はおそらくこのパンフレットに掲載された他の方々のように「溢れんばかりの青春」というような思い出は率直に言って無いかもしれない。ただ、そんな私にとっても、堀川高校は、ここに至るまでの自分の欠片がそこに息づいているような、そんな感覚をもたらす特別な場である。決して人付き合いが得意とはいえない高校生であったが、母校の再訪によって、この高校に自分もやはりいて、今に繋がる何かを得ていたのだという感覚を抱いた。

現在、トランスジェンダーの研究をしながら教鞭をとったり、心理士として臨床に携わったりする中で、協力者や学生、クライアントと関わる際にも、堀川高校での体験は彼らの体験を了解するための礎となっている。繋がりたいけれども、簡単には他者と繋がれない体験をしたからこそ、他者の哀しさや痛みを感じる回路が開かれたのかもしれない、だからこそ、誰かと繋がりを直せることのがたみをより味わっているのかもしれない。3年間の在籍期間だけでなく、その後もゆるやかな繋がりを生む場。それが、私にとっての堀川高校と言える。

「ラ・ゲヤ・スキエンツァ」とは、12世紀の吟遊詩人たちが自分たちの詩を創作する技法として名付けたものです。

彼らは、草原や森や道ばたで、木々や風や光を知り、そこから何かを発見したり感じたりして歌いました。

私たちは、「知ることは楽しい」という意味で、学ぶことを「楽しい知識 La Gaya Scienza」と呼んでいます。

自立する18歳を育む

豊かな学校の構築

堀川高等学校では、校訓「立志・勉勵・自主・友愛」に基づいて「自立する18歳」の育成を図ることを最高目標とし、そのために「豊かな学校」の構築をめざしています。

「豊かな学校」とは、言葉を大切にできる学校、言葉を通い合わせることでできる学校、考えるあたまと感じるこころを育てる学校、さまざまな経験を重ねることのできる学校を意味します。そこで学ぶことによって、想像力と創造力に富み、判断力と行動力を備えた「自立する18歳」が生まれます。

堀川高校は、社会生活を営む上で必要な教養を培う場です。生徒一人ひとりが、社会で他者とのように関わって生きていくのかを自らに問いながら、人文社会、自然科学や芸術に関する教養を身につけるために学んでいます。健康で安全な生活を営むための基礎体力の維持・向上、主体性・社会性・協調性を備えた自己管理能力の伸長、自他の存在と生命を尊重する人権意識の深化を図り、自己実現をめざします。そのために、生徒自身に内在する意志と意思、そして能力を引き出す教育を目標としています。

堀川高校は、生徒が自らの可能性を見出し高めることのできる多様な機会を提供し、個々の取組をさまざまな角度から支援します。そのために、各教科・科目及び総合的な探究の時間の充実と生徒の自主活動の活性化を図るとともに、生徒の進路希望の実現に必要な能力開発に関する研究と実践に取り組んでいます。

すべての生徒に、学ぶ厳しさとしらべを経験してほしいと願っています。一人ひとりが自立する18歳になるために。

立志・勉勵・自主・友愛

立志／自らの可能性を信じ、開拓し、目標を高く掲げ、その実現に向かって取り組む。

勉勵／謙虚であることと懸命に努力を重ねることの大切さを知り、困難に立ち向かう姿勢を培う。

自主／自らを見つめ、じっくり考え、適切な判断力と健全な批判力を養い、責任をもって行動する。

友愛／自分のまわりの人やものを大切にするとともに、想像力を高め、他者を思いやる。

普通科

General Academic Course

基礎・基本を踏まえて高度な活用能力を身につけるとともに、探究能力を伸ばし幅広い教養を身につける学科です。人間の文化・社会および科学・技術について広く深い健全な批判力を養い、文化・社会および科学・技術の発展に寄与する態度を養います。2年次以降は、自分の進路に応じて人文探究コース・理数探究コースのいずれかを選びます。卒業時には探究科に比肩する力を養います。



人間探究科

Academic Inquiry on Culture

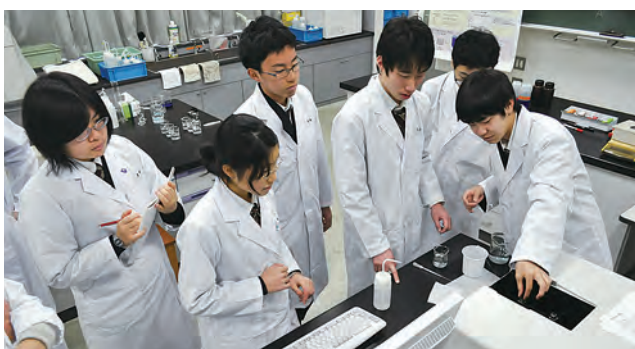
人文系統の学習を深め、人間の文化や社会・行動などについて探究する能力と態度を養う専門学科です。人文科学・社会科学系(文学・哲学・心理学・教育学・社会学・法学・政治学他)の専門研究につながる学習を進めます。



自然探究科

Academic Inquiry on Science

理数系統の学習を深め、自然の現象や原理・法則などについて探究する能力と態度を養う専門学科です。自然科学系(数学・物理学・化学・生物学・医学・薬学・農学・工学・情報学・環境学他)の専門研究につながる学習を進めます。



学校生活の入口から出口までを展望する

堀川高校グランドデザイン

特色・魅力ある教育の実現をめざして、堀川高校の入学選抜時から卒業時までの教育活動を一貫した体系的なものに再構成しました。堀川をめざし集うすべての生徒が学習意欲を喚起させ、多様な経験を重ね、社会で求められる資質・能力を身につける。そして高い志を持ち、自らの未来を描く。そのための指針となる「3つの方針（スクール・ポリシー）」を策定し、堀川高校の学校像を統一感のある「グランドデザイン」として表しました。

◆最高目標

堀川高校での学校生活全般を通してめざすべき姿である「自立する18歳」を言語化したものです。すべての教育活動は、このような生徒の育成のために行われます。

◆3つの指導の柱

生徒の可能性や能力を最大限に伸長するために、私たちが掲げる指導の指針です。生徒を見守り、分析と評価を行い、ともに考え、組織的かつ徹底的に支援することが、3つの柱に共通する堀川高校のスタンスです。

◆アドミッション・ポリシー

堀川高校をめざす人たちにはこのような能力と態度を持ってほしい、という私たちからのメッセージです。獲得した知識や経験からの学びを活用することや、仲間とともに主体的に挑戦しようとするを大切にしたいと思っています。

最高目標「自立す

生きていくための知識・教養に裏付けられた判断力と行動力を備え、人や社会と関わり自己実現を図ろうとする生徒を育成する。それは、学校による学びの機会の提供と指導、

豊か

THE NEST OF YOUTH

集う人が考えるあたまと感会や世界にとって、「豊かさ」問をもち、問題の解決に向け「形」を見つけ、その実現のために学び、思考し、表現し、となる「ことば」を大切にす

◆3つの指導の柱（学校による機会の提供と指導）

- **生徒に教養の獲得を促す指導**
・授業等の指導に関する研究、実践、改善を行う。
- **自己実現を図る進路目標の設定と達成に向けた取組を支援する指導**
・可能性を引き出し、情報を提供し、能力を開発する。
- **幅広い経験に基づく人間形成を図る指導**
・機会を提示し、取組を支援・指導し、主体性を育む。

【アドミッション・ポリシー】 (入学時に求める生徒像)

多様な経験を通して得た学びを活用する能力と、自らの可能性を信じて高みをめざす態度を有する生徒

- 言語活動を通して、思慮深さ、正当な批評力と判断力と行動力を身につけようとする生徒
- 他者との関係性を考えながら、目標の設定や選択を行い、自己実現を図ろうとする生徒
- 学校生活の多様な取組に意欲と関心を持ち、主体的な経験を通じて人間形成を図ろうとする生徒

【カリキュラム (めざす目標・展開する)

生涯学び続けていく意欲と能力を備えた若者の育成にむけて、探必要な高い学力と豊かな知性を培い、感性を磨き、また、主体的

- 社会生活を営む上で必要な基本的教養を培う場であるという認識
- 多様な価値観を有する他者との関係のあり方を思慮することを通
- 学校生活全般においてさまざまな経験を重ねることができると

学 年	First Stage	Se	
目 標	なれる 謙虚に学ぶ姿勢を持ち、作法を身につける	たのしむ 他者と関わり、見聞を広げ、知性を育む	かえりみる 立ち止まり、振り返り、整理し
所 属 感 性	「堀川を知り、堀川高校生になる」 学校は「小さな社会」 安心できる居場所さがしと他者への寛容さを		「堀川の核となよりよい「小さやわらかくつ
学 習 姿 勢	目標と目的を意識し、調整しながら謙虚に学ぶ		強みを知り、弱
進 路 目 標	「遠い未来」の設計/「近い未来」に向けた選択		「遠い未来」の
学 力 向 上	言語活用能力を鍛えて		本質を見抜く
探 究 基 礎	「知らない」との出会い、「知りたい」へのこだわり 学びの作法の習得と学問的関心の拡大		「こうすれば「問い」を立て
学 校 行 事	多様な取組をやってみる、遂げてみる		他に圧倒され
主 体 的 活 動	対話の重視、他者との協働、役割の遂行		議論と止揚、リ
文 化 祭	意思を持つ、全員でつくる、先輩から学ぶ		豊かに表現す
次ステージへ	「2月から2年生」へ 自己を知り、可能性を感じ、自信を持つ		「2月から3年自己を掘り、

◆カリキュラム・ポリシー

3年間の学校生活において、どういった目標をもって、何を重視して学びを進めていくのかを示しています。自らの学習と成長の道筋を「見える化」し、各ステージ=各学年のつながりを意識し、見通しを持って取り組むことができます。

◆教育活動年間計画（ステージ図）

カリキュラム・ポリシーに示された各ステージの観点を基に、学習や探究基礎などの取組の流れや重点を整理しています。生徒はこの年間計画を活用し、自分の位置を確認しながら、次の目標に向かいます。

校訓「立志・勉勵・自主・友愛」

- ・自らの可能性を信じ、開拓し、目標を高く掲げ、その実現に向かって取り組む。
- ・謙虚であることと懸命に努力を重ねることの大切さを知り、困難に立ち向かう姿勢を培う。
- ・自らを見つめ、じっくり考え、適切な判断力と健全な批判力を養い、責任を持って行動する。
- ・自分のまわりの人やものを大切にするとともに、想像力を高め、他者を思いやる。

◆校訓

堀川高校の歴史の中で長く掲げられ続け、最高目標の後ろ盾となるものです。時代を問わず、生徒の人格形成に影響を与え、卒業後に歩いていく人生の道標にもなるものです。

「18歳」の育成

あう中で育まれる想像力と創造力を活かし、自他の存在や価値の尊さを感じつつ、そして生徒の姿勢と行動によって構築される「豊かな学校」において実現される。

◆豊かな学校

堀川高校が豊かな学校であってこそ、自立する18歳が育成されます。豊かな学校は、私たちによる指導や支援と、生徒による姿勢や行動によって構築されるものです。

な学校

—若者たちが飛翔する場—

じるころを持ち、自分や他者、社とは何かを一人ひとりが考える。疑て取り組む。そして、満足できる向けて挑む。それらを可能にするた振り返る。堀川高校はその時に必要る学校でありたい。

◆堀川高等学校憲章 (生徒に求められる姿勢と行動)

- 多様な存在と価値を大切にし、時間と力を重ねて、**ひとつになる**ことをめざします。
- よりよいものを創出することを求め、困難に立ち向かい、工夫を重ねて一層の**高みに向かう**ことをめざします。
- 誇り高く生きることを願い、自己を見つめ、力を蓄えて、自覚した**ひとりになる**ことをめざします。

◆堀川高等学校憲章

2008年に生徒会によって制定されました。生徒はさまざまな場面で「ひとつになる 高みをめざす ひとりになる」を合言葉にしなが、楽しく充実した学校生活を送っています。

・ポリシー

教育活動・指導の観点)

究的な教育活動を展開する。よりよい社会を創造し先導するために楽しんで学びあい、振り返り、挑戦を重ねることを支援する。

に基づいて、人文・自然・社会全般にわたる教養教育を進める。して、自分の今を見つめ次を描き、自己実現への歩みを促す。を提供し、自己管理能力や人権意識、道徳性を養う。

【グラデュエーション・ポリシー】 (卒業までに身につける力)

科学・文化の担い手、また、良識ある社会の担い手として、自己および人類の未来を切り拓く資質・能力

人間の文化や社会・行動、自然の現象や原理・法則などの社会的・学問的価値などを踏まえ、

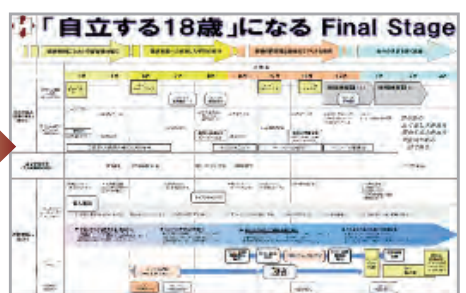
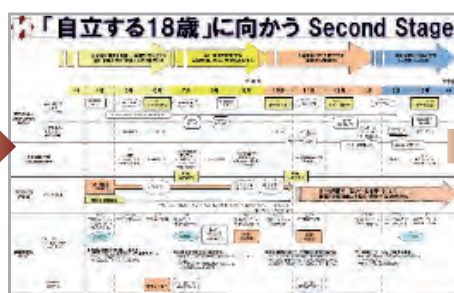
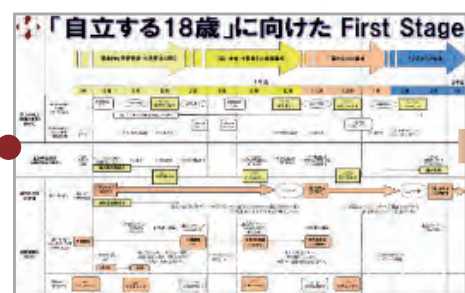
幅広い教養を持ち、よりよい社会の実現や文化・科学・技術の発展を視野に、

- 目標を立てて、その実現に必要なことを予想し、方針をたてることができる。
- 事実や主張を多面的・批判的に検討し、根拠や理由から論理的に考えをまとめることができる。
- 自分の力で、また、他者とともに粘り強く、自己を調整しながら取り組むことができる。

◆グラデュエーション・ポリシー

各ステージでの段階的で継続性のある学びを通して、堀川高校を卒業するときまでに身につけてほしい資質・能力を示しています。社会において、学びを進化・深化させ続けるために必要となるものです。

cond Stage	Final Stage
あそぶ	むかう たつ
り返り、枠を超え、外を感じ、てみる あれこれ挑んでみる	自己の展望を掲げ、力強く立ち向かう 総エネルギーを自覚し、
り、先頭に立つ」な社会」づくりながら、自分たちの手で創造を	「堀川を語り、誇り、志高くはばたく」自分らしく「大きな社会」へ
みに向き合い、改善に取り組む	違いを認め自分を信じ、勇気ある一歩を
こだわり/「近い未来」への方略力、多角的に考える力を磨いて	「1人で、仲間と、探究的に学ぶ力を発揮する
きつと」の思考と模索	「遠い未来」への覚悟/「近い未来」の実現
「答え」を導く実践と振り返り	可能性を切り拓く確かな学力を蓄えて
る体験が、自分たちを変えていく	「まだまだしたい」のワクワクする挑戦
ダー/フォロワーによる組織的挑戦	知的好奇心を満たす環境でのさらなる学び
る、連なり重ねる、突き抜ける	困難に立ち向かう、自己の可能性にかけた
生」へ	高度な汎用的探究能力を活かした実践
将来像を描き、ことばで伝える	自分を越える、信頼を育む、最高の景色をみる
	さらなる知の海へ、躍動の壇へ
	生涯学び続ける学習者としての教養と人格を



教養を獲得し、学びを自らデザインする

新しいカリキュラムと時間割

堀川高校では、社会生活を営む上で必要となる基本的教養を学ぶとともに、生涯学び続けていく意欲と能力を備えた人材の育成を目的とした教育課程を構築しています。教科・科目や、探究基礎をはじめとした探究活動だけでなく、教育課程表（時間割）以外の時間にも、自分の学びの目標と計画を立てたり、その計画が目標達成のために有効かを確認したりする機会を設定しています。これらの学びを通じて卒業時には、自分自身で目標を立て、それに向かって方針をたてるとともに、自分の力と他者の力を重ねて粘り強く取り組めるようになる——学びのデザインができるようになる——ことをめざします。

学び方を学び、実践し、確認する

1年：「学びのアセスメント」の時間

「学び方」を学び、「学び方」が身についているかを確認するための「学びのアセスメント」の時間を時間割内に設置します。特に、堀川高校で学ぶ言語能力の基礎である国語・数学・英語を中心に、自分の学び方の確認をします。



2年前期：「学習方略」の獲得

地歴公民・理科の科目数が増える中で、学びの方略を確認しつつ学習をすすめます。



教育課程（略表）（科目名は略称の場合があります。）

1年生 共通	現代の国語 ②	言語文化 ②	数学Ⅰ ③		数学A ②	英語コミュニケーションⅠ ⑤					地理総合 ②
2年生 人文探究コース 人間探究科	文学研究Ⅰ ②	古典研究Ⅰ ②	数学研究Ⅰ ⑥				英語コミュニケーションⅡ ③	English ExpressionⅠ ②		地理研究Ⅰ 日本史研究Ⅰ 世界史研究Ⅰ ③	
3年生 人文探究コース 人間探究科	文学研究Ⅱ ②	古典研究Ⅱ ③		国語研究 ①	数学研究Ⅱ ⑤			Advanced English ③		English ExpressionⅡ ②	
2年生 理数探究コース 自然探究科	文学国語 ②	古典探究 ②	数学研究α ⑥				英語コミュニケーションⅡ ③	English ExpressionⅠ ②		地理探究 日本史探究 世界史探究 ②	
3年生 理数探究コース 自然探究科	文学国語 ②	古典探究 ②	数学研究β ⑦					Advanced English ③		English ExpressionⅡ ②	

1年生の時間割例

月	火	水	木	金
1	英語コミュニケーションⅠ	地理総合	化学基礎	芸術
2	現代の国語	保健	数学A	芸術
3	体育	言語文化	探究基礎Ⅰ	LHR
4	体育	歴史総合	探究基礎Ⅰ	学びのアセスメント
5	地理総合	情報Ⅰ	理数探究基礎	英語コミュニケーションⅠ
6	英語コミュニケーションⅠ	情報Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	現代の国語
7	化学基礎	数学Ⅰ	数学Ⅰ	歴史総合

2年生(人間探究科)の時間割例

月	火	水	木	金
1	日本史研究Ⅰ	生物基礎	数学研究Ⅰ	English ExpressionⅠ
2	数学研究Ⅰ	古典研究Ⅰ	英語コミュニケーションⅡ	数学研究Ⅰ
3	英語コミュニケーションⅡ	日本史研究Ⅰ	地理研究Ⅰ	日本史研究Ⅰ
4	数学研究Ⅰ	地理研究Ⅰ	公共	地学基礎
5	地理研究Ⅰ	数学研究Ⅰ	保健	古典研究Ⅰ
6	English ExpressionⅠ	体育	文学研究Ⅰ	探究基礎Ⅱ
7	生物基礎	体育		探究基礎Ⅱ

学びの環境

一人一台の情報端末で外とつながる学びを

- ・令和3年度より、各自が用意した情報端末を活用しながら学びを深めています。校内無線LANに接続して、さまざまな学習活動をすすめます。また、本校専用の学習管理システムを利用することによって、今いる場所を「学びの拠点」とすることができます。
- ・用意する端末の機種は指定はありません。自分の文房具として、授業だけでなく、探究基礎やクラス活動、スタッフ活動、部活動などでも利用しやすい、自分に適したものを選択することができます。

主体的・協働的な学びがしやすいラーニングコモンズで深い学びを

- ・ローム エコライブラリー（図書館）の2Fにはラーニングコモンズと呼ばれる学習スペースがあります。可動式の机やホワイトボードを数多く設置しており、生徒たちによる自主的な勉強会や主体的な活動の場として、さまざまに活用されています。

2年後期：「Academic Project」で新たな学びの挑戦

2年後期からの総合的な探究の時間「Academic Project」の期間には自分の目標に合わせて学習形態を選択します。

3年：校内で独自の学び方の実践

3年からは授業が週30単位時間に。自分ひとりで、あるいは、朋と一緒に高みをめざした学習活動が実践できます。また、学校設定科目「探究基礎Ⅲ」（自由選択科目）で、自ら立てた計画に基づいて、主体的な探究活動の実践ができます。

歴史総合 ②	化学基礎 ②	保健 ①	体育 ②	芸術 ②	家庭基礎 ②	情報Ⅰ ②	理数探究基礎 ①	探究基礎Ⅰ ②	LHR ①	学びの アセスメント ①
地理研究Ⅰ 日本史研究Ⅰ 世界史研究Ⅰ ③	公共 ②	生物基礎 ②	地学基礎 ②	保健 ①	体育 ②	探究基礎Ⅱ ②	LHR ①			
地理研究Ⅱ、日本史研究Ⅱ 世界史研究Ⅱ、倫理・政経研究 ④	地理研究Ⅱ 日本史研究Ⅱ 世界史研究Ⅱ ④	生物演習 地学演習 ①	化学演習 生物演習 地学演習 ①	体育 ③	LHR ①	探究基礎Ⅲ ①				
公共 ②	物理基礎 生物基礎 地学基礎 ②	物理研究Ⅰ 生物研究Ⅰ ④	化学研究Ⅰ ②	保健 ①	体育 ②	探究基礎Ⅱ ②	LHR ①			
地理探究 日本史探究 世界史探究 ②	物理研究Ⅱ 生物研究Ⅱ ④	化学研究Ⅱ ④	体育 ③	LHR ①	探究基礎Ⅲ ①					

3年生(自然探究科)の時間割例

	月	火	水	木	金
1	化学研究Ⅱ	物理研究Ⅱ	数学研究β	文学国語	古典探究
2	地理探究	化学研究Ⅱ	数学研究β	English ExpressionⅡ	体育
3	数学研究β	数学研究β	文学国語	物理研究Ⅱ	LHR
4	数学研究β	English ExpressionⅡ	物理研究Ⅱ	地理探究	Advanced English
5	古典探究	体育	Advanced English	化学研究Ⅱ	数学研究β
6	Advanced English	体育	化学研究Ⅱ	数学研究β	物理研究Ⅱ
7			探究基礎Ⅲ		



「知りたい」を携え、探究にあそぶ

探究基礎（総合的な探究の時間）・理数探究基礎

みなさんがふと気になったり、不思議に思ったりしたこと。そんな「知りたい」と思ったことについて、知ろうと思ったらどんな方法があるでしょうか？ Webで調べたり、本を読んだり、人に聞いたり……。これらの方法で納得のいく答えが得られることもあります。答えにたどりつけないこと、そもそもその答え自体が存在しないことだってあります。また、多くの人が既にわかっている、と思い込んでいたことにも、実はまだよくわからないことがあったりします。こんなときに自分なりに納得のいく答えを導き出すための営みが「探究」です。

一言で「探究」といっても、知りたいと思う対象には、人間社会・文化・芸術・宇宙・自然・物質・生命、またそれらに対する我々の考え方そのものなど、さまざまなものがあります。だから、探究のすすめ方に決まった方法があるわけではありません。それでも、探究をすすめるときに、多くの場合、役に立つ方法があります。例えば、自分が「知りたい」ことについて、既にわかっていることや基本的な考え方などの常識を学ぶこと。時にはそれらの常識を疑って、それらが間違っていないかを確認すること。調べたこと、わかったことをつなぎ合わせて自分なりの結論を導き出すこと。他者との議論を経ることで、自分だけの納得から、みんなが納得できるものへと探究の質を高めること。こういった探究の進め方を実践的に学んでいく授業が、探究基礎と理数探究基礎です。

ただ、探究の源泉はあなたの内面から湧き上がる「知りたい」という気持ちです。素朴な問いや知的好奇心を大切に、自分だけの探究に飛び込み、思う存分楽しみ、手と頭を動かしましょう。そんな風に「探究にあそぶ」うちに、自分自身が、どんなことを知りたいと思うのか、どんなことをできるようになりたいのか、どういう価値を社会にもたらしたいのか、という、あなた自身にしかわからないことが見えてきます。つまり、これらの授業での思索や対話の時間は、自分自身や、将来にわたる自分の在り方生き方を「探究」する機会でもあるのです。

探究基礎（総合的な探究の時間）・理数探究基礎の流れ



探究五箇条

一、知らないということを知れ

まずは「自分ではわかっていないもの」でも、実はよくわかっていないことがある」ことを自覚することが何より大切です。「わかったつもり」は探究の敵です。無知を自覚し、謙虚に学ぼうとする姿勢が探究の前提となります。

一、常識を学べ

答えのない問いと向き合うには、世間の一般常識はむしろ人のこと、先人たちが明らかにしてきた知恵や理論を学ばなければなりません。探究は人類全体の時を超えた共同作業です。どんな新発見も「教科書」の上に積み上がっていくのです。

一、常識を疑え

学んだ「常識」を鵜呑みにするのはではなく、時には疑ってみることも必要です。探究活動の出発点である「問い」は、「常識」とされてきたものへの疑いや違和感から生まれることも多いのです。

一、手と頭を動かせ

探究活動は思考だけでも作業だけでもうまくいきません。考えをめぐらすだけでなく、実際にやってみること、やみくもに作業を進めるだけでなく、まずは目的を考え計画を立てること、どちらも重要です。

一、朋と愉しめ

探究は決して孤独な闘いではなく、仲間が存在があつてこそ、有意義なものとなります。時にはアドバイスを与え合い、時には厳しく批判し合つて互いに高みをめざしましょう。そして、探究によって得たものは、皆で分かち合ひましょう。



23期生（令和4年度2年生） JUMP論文テーマ例

- ・『源氏物語』における桜が表すものとは 一花宴から読み解く一
- ・007から見る時代の変化と女性の地位の向上 一どのようにして女性の地位が上がっていったのか一
- ・小規模インフルエンサーのマーケティング効果
- ・自分にとって最適な走幅跳の跳躍角度 一より遠く跳ぶために一
- ・地球重力を利用した重力場の再現 一重力場のモデル実験装置の開発・評価一
- ・最も効果的にタンパク質を摂取できる卵の状態 一タンパク質の熱変性との関連一
- ・ n^2-a で表される数の素因数 一平方剰余の相互法則に着目して一



谷安 要

自然探究科
17期生
京都大学 理学部 理学科
京都大学大学院 理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻
宇宙物理学教室

私は現在大学院で宇宙において生命が生存可能な惑星ができるにはどのような条件がよいのか、といったテーマで研究を行っています。

大学院生は研究者の卵として色々な知識を学び、その過程で疑問に思うことや研究で調べられていないことに対して自分なりに仮説を与え、実験や計算を行ったあと考察を行います。これだけ見ると、研究者は難しいものだと思う人が多いかもしれませんが、しかし、研究者としての喜びは探究における一連の流れと同様の活動になっています。

堀川高校では当時存在していた探究にまつわる活動全てにスタッフとして自分は参加していました。探究基礎に関しても熱心で、探究そのものに対してどういう形で参加するべきか、どういふものとして探究を扱うべきかを考え、自分のもののように探究を考えてきました。主体的に物事に関わり、物事自体について考えるという能力を得ることができたのは、間違いなく堀川高校のおかげです。また、最初に話した研究テーマについても、興味関心の元は探究基礎における探究テーマから発展していったものです。その点においても堀川高校での3年間が自身にもたらしたものは間違いなく大きなものだと考えています。

このページをここまで読んでくださった皆さんは堀川高校の良さは探究活動にあると感じていると思います。しかし、「見る」だけで本当に良さがわかるのでしょうか？是非堀川高校へと進学してこの問いへの自分なりの答えを探してみてください。



宮井 希葉

自然探究科
21期生
東京農工大学 農学部 共同獣医学科

私が高校時代頑張ったことは勉強と探究です。堀川高校では、生徒が主体的に考え参加する授業が多く、例えば私が受けた生物の授業では、級友とも協力しつつ楽しみながら学習することができました。

私は現在獣医学科に通っていますが、高校で学んだ生物の知識は非常に役に立っています。探究活動では、答えのない課題について必死に考える能力が身につきました。レポートの書き方や問いへの答え方などが大学で役に立っています。また、将来の選択肢として研究職を考えるきっかけになりました。

中学生のみなさん、堀川高校はとても自由な学校です。やりたいことは先生たちが協力してとことんやらせてくれます。行事もルールも生徒が作り上げる、そんな学校です。勉強が好きな人、人と協力するのが好きな人におすすめしたいです。受験勉強を頑張るだけの価値のある学校だと思います。



三上 詩

京都市立上京中学校出身
自然探究科 女子バスケットボール部
22期生
滋賀医科大学 医学部

物知りな人は、奥が深いです。そしてそういった人達は、自分の無知を自覚しています。私は、探究を通して自分がいかに狭く、浅い世界で生きていたのかを思い知りました。豊富な知見を持つ人は、私がぐうの音も出ないような、論理的で画期的な、面白い考え方をしていました。もし、私が中学生に、あるいは高校1年生に戻れるとするなら、多様な経験をしておきたいです。古代から近代、現代にいたるまでの様々な文学作品を読んだり、普段は見ない分野のYouTubeに手を出したりするなど、まずは広い知識を身に付け、その後自分の興味のあるところを極めていけたら、最高だと思います。私の苦勞した探究のテーマ決めも、そうであったならより深い洞察力をもって出来たらうに、と思います。知識を身に付けることは世界を広げ、探究することによりその世界に深みを帯びさせることができるのではないのでしょうか。



藤木 玲依那

宇治市立広野中学校出身
自然探究科
22期生
大阪大学 工学部 応用自然科学科

私はこの3年間、堀川高校に入学したことを後悔したことはありません。しかし1つだけ悔しく思っていることがあります。それは探究活動です。

私は化学ゼミに所属していました。実験テーマを決めて実験しよう！となるとワクワクしました。しかし、その実験結果の比較方法をしっかり決めないまま実験を始めてしまったせいで、はっきりとした実験結果は出ずに探究活動を終わらせてしまいました。実験テーマや実験結果を比較する方法を変える時間は今思うと十分にあったのですが、私はその時間を惜しく思ってしまったのです。もっと落ち着いて自分の知りたいことに向き合えば良かったな、と今では思います。

探究活動ではこれから一生続くであろう、自分の「知りたい」を追求することの第1歩です。探究活動に限った話ではないですが、堀川高校に入学したらぜひ自分の納得のいくまで楽しんでください！

堀川で高校生活を楽しむ

年間行事



4

- ・入学式
- ・前期始業式
- ・探究 DIVE

5

- ・遠足
- ・生徒総会
- ・コミカレ講演会

6

- ・前期中間考査
- ・球技大会
- ・人権学習

7

- ・保護者懇談会
- ・学校説明会
- ・1・2年全員学習
- ・3年夏季補習

8

9

- ・文化祭
- ・探究基礎研究発表会

堀川高校生の1日

8:25 登校



12:35~13:20 昼休み



8:30~12:35 午前の授業



13:20~16:10 午後の授業



10:35~11:35 LHR (金曜日)



16:10~ 終礼・放課後



生徒諸君への三つの約束

1. 学校は学びの場だ。
自分に足りないものがあるから学ぶ。
君たちは学ぶ者としての謙虚さをもて。
学校は君たちに多様な学ぶ機会を提供しよう。
2. 学校は小さい社会だ。
よりよい社会にするために、
君たちは自覚と責任をもて。
学校は君たちを大きな子どもではなく、
小さなおとなとして尊重しよう。
3. 学校は楽しいところだ。
しかし、
楽しさは待っていて与えられるものではない。
君たち自身が参画し、
参加する意思と姿勢をもて。
学校は君たちを見張るのではなく見守ろう。

必要経費 (令和5年度1年生)

入学金	5,650 円
授業料 (就学金支援制度あり)	118,800 円
PTA会費・振興会費	10,000 円
その他諸費	約 57,000 円
制服代	約 62,000 円
教科書・体育用品	約 54,000 円

その他、別途宿泊研修費・学習用情報端末費は
行き先・購入品によって個人差があります。



10

- ・前期末考査
- ・前期終業式
- ・後期始業式
- ・体育祭

11

- ・保護者懇談会
- ・学校説明会
- ・卒業考査(3年)

12

- ・後期中間考査(1・2年)
- ・特別時間割(3年)
- ・1・2年全員学習
- ・3年冬季補習

1

- ・3年激励会

2

- ・学年末考査(1・2年)

3

- ・卒業式
- ・後期終業式
- ・宿泊研修(1年)



青谷 美香

普通科Ⅱ類 理数系 軽音楽部
12期生
京都大学 工学部 工業化学科
株式会社Pale Blue

私は今、東京大学発の、人工衛星の推進エンジンを作る会社で電気エンジニアとして働いています。また、電気エンジニアチームのチーム長を兼務し、マネージャーとして部下の管理やチームの取りまとめを行っています。大学卒業後は最初、大手メーカーでIC開発の仕事をしており、ここでも部下のマネジメントを任されていました。今の職場でも前の職場でも、比較的若いと言われる年齢でマネージャーに抜擢していただいているのですが、これは堀川高校の文化祭での経験を生かして仕事をしているからだと思っています。

堀川高校文化祭のメインイベントであるクラスの出し物は、驚くほどクオリティが高く、私は毎年文化祭委員として「1年生の頃に見た上級生のようなものを作り上げたい」と企画・準備を仕切っていましたが、思うようにクラスメイトをやる気にさせることができず、独りよがりになってしまうことが多々ありました。たくさん悩んで模索した結果、皆が団結して1つのものを作り上げることができた瞬間は今でも鮮明に覚えています。この経験があるからこそ今、仕事でも人を団結させる能力を発揮することができていると思います。

堀川高校は、楽しい思い出を作るだけの場所ではなく、様々な辛い試練を経験し、強くなれる場所だと思います。これは、人生において他では手に入れない宝物になるはず。かけがえのない高校生活を、ぜひ堀川高校で過ごしてください！応援しています。



邵 鴻成

人間探究科 テニス部
13期生
東京大学 経済学部
株式会社Pacific Meta

私は、堀川高校卒業後、東京大学文科三類に進学し、在学中はフランスと中国での留学を経験しました。大学卒業後、上海で4年間働き、現在は東京にて大学時代の友人とスタートアップ企業を運営しています。

堀川高校では、3年時の文化祭でのパフォーマンスなど、忘れ難い思い出が沢山ありますが、その中でも学生自身が主体となって企画運営する海外研修旅行、現地の高校生と学術交流した韓国研修など、様々な国際経験を積めたことに、大変感謝しています。

現在、私は会社の海外事業部の責任者として、日常的に海外に赴き、外国人と交流していますが、振り返ってみれば、堀川高校で得たこれらの経験が、原点だったと思います。

残念ながら、一般的に日本人は他のアジア諸国の方と比べても、英語力や国際的な視点に乏しいです。しかし、海外との交流機会は今後増える一方ですので、現在中学生である皆さんが社会に出られるころには、それらのスキルはより重宝されると信じています。堀川高校では、研修旅行や、海外の高校や大学との交流など、チャンスは無限にあります。ぜひ活かしてください。

最後に、私は世界数十カ国で、属性が異なる様々な人に出会ってきましたが、その中でも、堀川の人間は格別に個性的でいい人が多いです。ぜひ堀川で、素敵な仲間たちと、最高の高校生活を送ってください！



五島 文穂

川崎市立稲田中学校出身
普通科 人文探究コース 陸上競技部
22期生
京都大学 経済学部 経済経営学科

堀川高校はレベルの高い仲間や多方面でのサポートをしてくださる先生方がたくさん身の周りにもいる環境であり、そのような環境で3年間の学校生活を送れたことは自分の成長につながっていると実感しています。堀川高校では生徒が主体性をもって様々な活動を自分たちの手で築いていきます。学校行事では、文化祭や学校説明会でのような取組をするのかなど生徒たちが1から考え、準備期間も先生たちに時折アドバイスを求めつつ、生徒同士で対話しながら活動を進めていくのです。また私が所属していた陸上競技部においても練習メニューなどは顧問の先生が決めるのではなく、自分たちに必要な練習を考え決定していました。主体的に活動するには思考することが必要不可欠となります。その思考のプロセスを繰り返したことの経験が物事を見つめる視野を広げてくれたと感じています。

学習面に関しては、始めのうちは授業の進度が早いと感じ、ついていくことに必死になるかもしれませんが、先生方の教え方が丁寧で理解するうちに学問としての面白さを発見することができます。困ったときは周りの仲間や先生に頼るのも良いでしょう。そのような良い人間関係を築きながら堀川高校で濃密な学校生活を送ることはあなたの人生を豊かにしてくれるはずです。



高瀬 萌永

島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程出身
自然探究科 生徒会執行部
22期生
京都府立医科大学 医学部 医学科

私は、2年生の時に文化部長として文化祭の企画・運営を行いました。当初私が考えていた文化祭の意義が、これまでの伝統や周囲の人の考えと異なっていたため「なぜ文化祭をするのか」という問いに日々向き合い続けました。しかし、感染拡大により開催が危ぶまれ文化祭が窮地に立たされた時に、私は文化祭の意義は、一人ひとりが創り出すものだということに気づきました。文化部長として、一人ひとりの文化祭に対する想いを支えるために仲間と共に奔走した後に見たアトリウムの景色は今でも鮮明に覚えています。

文化祭に限らず、生徒会が中心となって運営する球技大会や体育祭等の行事は、堀高生の行事を通して成長したいという想いが詰まっています。時には、沢山の人の熱い想いが詰まり過ぎて葛藤することもあるかもしれませんが、堀川高校にいる仲間と一緒に葛藤や苦難も乗り越えられると思います。堀川高校で挑戦することの楽しさを感じ、苦難を乗り越えた先にある新たな景色を見て欲しいと思います。

ひとつになる 高みをめざす ひとりになる

学校行事・生徒会行事

遠足(5月)

クラスや学年ごとに思い思いの場所に出かけ、バーベキューや市街散策などを通して親睦を深めます。



球技大会(6月)

バレーボールなどの種目でクラス対抗の競技を行い、クラスの団結をいっそう強める機会とします。

クラスTシャツのデザインを決定していく過程も相互理解を深める重要な機会です。



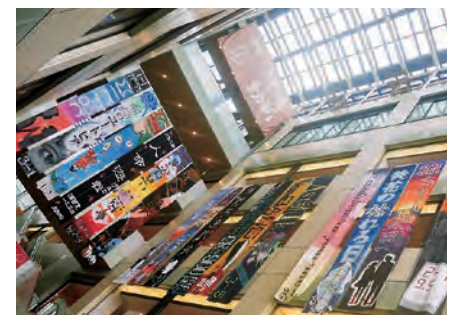
文化祭(9月)

堀川高校最大の学校行事です。令和元年度までは中学生や一般市民にも広く公開されていましたが（今後は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて慎重に検討します）。

クラス企画として、1・2年生は講堂劇、3年生はアトリウムでのパフォーマンスという伝統が長く受け継がれています。一度しかない本番に向けて持てる全ての力を注ぎ込む営みが、堀川高校憲章にうたわれる「ひとつになる 高みをめざす ひとりになる」を体現します。

工夫を凝らした生徒会企画や有志企画も多数行われ、BIG BOXは堀川高校生の歓声と感涙で埋めつくされます。

文化祭を通しての豊かな学びを、その先の学習・探究活動・学校生活に転化していくことも堀川高校では大切にしています。



体育祭(10月)

3学年そろって行う学校行事として、京都市右京区の嵯峨野グラウンドで行われます。本格的なリレーからユニークなルール
の障害物競走までさまざまな種目があり、クラスや学年のまとまりはもちろんのこと、学年を越えた堀川高校全体の一体感が生
まれる機会です。



橋本 奈津美

人間探究科 テニス部
18期生
筑波大学 人文・文化学群 比較文化学類
株式会社メディカル・プリンシプル社

「あの日々無くして、今はない。」

私が母校を卒業してから常々思う言葉です。

高校時代、私は堀川高校が与えてくれるもの全てに全力で取り組みました。日々の授業をはじめ、探究活動、部活動、学校説明会でのスタッフ活動、海外研修、文化祭と息つく間もない毎日でしたが、貴重な経験と学びを得ました。

一つ挙げると、堀川で習慣化された「言葉と向き合う」こと。

言葉と向き合うことは自分と向き合うことです。自分の考えや思いを的確に言葉にする、相手に伝わる言葉を見つけるといった言語化能力は、日々の積み重ね

で磨かれるものだと思います。

また、言葉と向き合うことは相手と向き合うことでもあります。探究活動では、言葉の「定義」を常に確認するよう教わりました。同じ言葉でも、自分と相手が違う意味で使っていれば相手の考えを理解することはできません。

人間探究科での日々で身についた「言葉を大切にする」姿勢は、自分と相手を大切にすることそのものです。

私は、医療分野の人材紹介を行う会社に2023年の春に就職したばかりですが、仕事においても、言語化能力と相手の言葉と丁寧に向き合う姿勢はとても重要なものだと実感しています。

堀川は決して楽な学校ではありません。でも、互いを尊重し切磋琢磨し合える仲間たちと、生徒の自主性を重んじ、「小さな大人」として扱ってくれる先生方に支えられ、「堀川の3年間を乗り越えた」という自信が今でも自分を支えてくれています。

もし迷っているならぜひ堀川を選んでください。あなたの世界を広げる経験と学びがきっと得られるはずです。応援しています。



窪田 智佳子

京都市立音羽中学校出身
普通科 人文探究コース テニス部
22期生
筑波大学 人間学群 心理学類

私が堀川高校の受験を決意したのは、中学3年生で参加した文化祭で、堀高生の強烈な輝きを感じたからです。ですから、私は高校3年間、文化祭に全力を注いでいました。特に3年生の文化祭が本当に大変で、これ以上ないほど楽しかったです。

高校3年間の文化祭を通して、私の目標は、クラス全員が達成感を感じられることでした。正直、高校1・2年生のときまでは私や一部の人間だけが盛り上がりつつ終わった気がしていました。しかし、高校3年生では友人を頼れるようになり、互いに支え合ってクラスを上手く引っ張れたと思います。私が苦手なことでも、友人なら案外簡単にできることがあると知ったからです。また、受験生なので、一人ひとり考え方が違うことから、それを理解しあって、それぞれが最大の熱量で文化祭に参加できたと思います。実際、アトリウムパフォーマンスが終わった時、これまでとは比べ物にならない達成感を感じ、言葉にせずともクラス全員が感動していると分かる一体感もありました。

そして、卒業式の日、最後にクラス全員が一言ずつ伝える場面。みんなが、このクラスで最後の文化祭ができて良かった、このクラスで良かったと話していました。文化祭での思い出は、これからも私たちの間に共有され続けるのだと強く感じました。とても嬉しくなりました。みなさんも堀川高校で、特別な達成感を感じてみませんか？



小島 颯太

京都市立洛南中学校出身
自然探究科 山岳部
22期生
北海道大学 農学部

堀川高校での3年間は、きっと素晴らしいものになるだろう。そして堀川の学校行事は間違いなく、その長く短い3年間に花を添えてくれるはずだ。私は学校説明会の全体代表・副代表、文化祭の監督、アカデミックプロジェクト、アトリウムパフォーマンス実行委員会代表など、数えきれないくらい貴重な体験をさせていただいた。そこでの出会いや経験や思い出は一生の糧になっているし、感謝しかない。

高校生の特権は「とりあえずやってみる」ことができることだと思う。そして堀川は君のための「挑戦する機会」と支えてくれる「先生」と応援してくれる「仲間」に溢れている。でも、ただボーっとしているだけでは、何も掴めない。だからこそ、「失敗しても、頭をかいてごまかせばいい」くらいの気持ちで、自分の殻を破り、アクティブに動いてほしい。「堀川を使いこなす」そんな「堀高生」であってほしい。君の挑戦を北海道から応援しています。Be ambitious!

世界とつながり、世界を広げる

学校行事

宿泊研修

本校の宿泊研修は探究活動の一環として行われます。20期生は普通科・探究科の区別なく4つのコース（マレーシア、オーストラリア、ボストン、オランダ）より、生徒一人ひとりの研修の目的に合わせて希望するコースを選択し、1年次の4月から約1年かけて自分たちの研究に沿う訪問先について“対話”を行いながら、それぞれの研修をつくり上げました。異文化に触れ、様々な価値観を知ること、自己理解や他者理解の大切さを学び、「自立する18歳」への第一歩としました。（新型コロナウイルス感染症の影響により、21期生海外研修は中止、22期生以降はこれまでの研修を踏襲した国内研修に挑戦しました。25期生（令和5年度1年生）からは海外研修コースを設定し、国内研修コースと合わせて準備を進めています。）



国際交流

◆ISSFへの参加（2020年1月）

タイ王国ラヨン県で開催された「International Student Science Fair (ISSF)」に参加しました。アジア各国から高校生が集まり、科学研究の成果を英語で発表しあったり、議論を深めたりするイベントです。生徒は探究活動で培った力を発揮し堂々とポスター発表や口頭発表を行い、Best Social Inspirationを受賞しました。



◆ハーバード大学との交流（2019年6月）

京都でのサマースクールに参加するため来日中のハーバード大学生との交流会を行いました。有志生徒が企画・運営を担い、英語しりとりゲームや日米の文化の違いについてのディスカッションなどで相互理解を深めました。その後も校内の施設を英語で案内するなど、積極的にコミュニケーションをとっていました。



◆ドイツでの研修（2019年3月）

生徒4名が、ドイツの学校教育の中で長年技術系教材として用いられてきた「fischertechnik」を利用したワークショップに参加しました。小型モデルを実際に組み立て、プログラミングを施す体験を通し、「普段は目にしない部分にこそ技術が隠れている」ことや、「既知の技術を実際に作成、運用する楽しさ」を学ぶことができました。



コミュニティカレッジ

大学教授や専門機関の研究者などによる「コミカレ講演会」や、本校教職員や保護者・市民が講師となる「コミカレ講座」など、学ぶ楽しさを通して交流する場を企画します。また、講演会は探究活動の一環として事前学習や当日の運営などを生徒主体の委員会が担当します。生徒だけでなく、保護者・教員・市民が共に学べる機会となっています。

近年のコミカレ講演会・講座（一部）

「深い学び」が切り拓く未来—対話的に考える学びの5W1H—

塩瀬 隆之氏（京都大学総合博物館 准教授）

学問としての「仕掛け」

松村 真宏氏（大阪大学大学院経済学研究科 教授）

性別って2つだけ？～多様な性のあり方～

今井 秋奈氏（一般社団法人 ELLY）

本当の国際化とは

ウスビ・サコ氏（京都精華大学 学長）

“いま見えている”世界の奥に広がっている“いま見えていない”

将来の素晴らしい機会

北條 元宏氏（マッキンゼー・アンド・カンパニー

関西オフィス代表 パートナー）

『源氏物語』特別講座

「変貌する冷泉帝 彼はいったい何者なのか—」

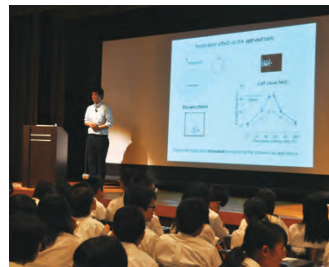
岸本 久美子氏（堀川高等学校 非常勤講師）

世界から見た日本

ジュール・イルマン氏（在京都フランス総領事）

学問とは何か？ 教養とは何か？

中島 岳志氏（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授）



学術顧問

名誉学術顧問（50音順・敬称略）

井村 裕夫 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 名誉理事長
元京都大学総長

佐藤 禎一 東京国立博物館 名誉館長
元ユネスコ日本政府代表部 特命全権大使
元文部事務次官

学術顧問（50音順・敬称略）

秋山 仁 東京理科大学 特任副学長、理数教育研究センター長

西岡 康夫 NPO法人 教育システム研究所 理事

茂木健一郎 脳科学者
ソニーコンピュータサイエンス研究所 シニアリサーチャー

堀川グランドデザイン評価委員会 兼 スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会（50音順・敬称略）

小林 哲生 NTTコミュニケーション科学基礎研究所 上席特別研究員

出口 康夫 京都大学 教授

野口 範子 同志社大学 教授

松本 義寛 株式会社村田製作所 課長



吉田 亜生

自然探究科
17期生
東京農工大学 農学部 共同獣医学科

堀川高校では海外研修委員長としての活動が私を大きく成長させてくれたと思います。学年全員が5つのコースに分かれて海外に行くという大きなプロジェクトを成功させるためには、一人ひとりが自分の探究テーマを深掘りし、計画に対して主体的に意見が出せるようにすることが必要でした。コースや班単位での交流会を実施し、仲間との意見交換を重ねる中で、自分の視野の狭さを痛感し、新しい視点と遭遇する機会をもつことができました。

研修中は、知りたかったことを知ることができた感動、そこに辿り着くまでの困難、知った後に湧いてくるさらなる疑問など、実際に訪れた場所で自ら計画してきた探究活動を行なったことは、私にとって貴重な体験となっていることは間違いありません。

現在私は大学で獣医師になるための知識と技術を学んでいます。対象は動物だけではなく、人、魚、昆虫、寄生虫などとの関わりを学ぶことに及びます。一つの病気に原因が一つとは限りません。そこに関わる多様な生き物や生理現象について理解する際には、物事の全体像を把握する力も求められ、それらの基礎を堀川高校での3年間で得ることができたと感じています。

堀川高校は「知りたい」を大切にしている学校です。「知りたい」と思う気持ちを伸ばしていくことで世界が広がり、気づかなかった自分の可能性を発見することができると思います。ぜひ堀川高校であなたの自身の「知りたい」を見つけてみませんか？



松田 玄

京都市立桂中学校出身
自然探究科 バスケットボール部
22期生
東京大学 教養学部 理科一類

私たち22期生は新型コロナウイルス禍の影響で、2年生の11月に国内での宿泊研修を実施しました。私は宿泊研修委員長として4月末ごろから活動し、11月の現地研修に向け、旅行社の方との話し合いなども含めた準備をし、現地研修を終え、その後に活動録を作成するなど、さまざまな活動を行いました。この1年間は私の高校生活の中で、間違いなく最も密度の濃い1年でした。もちろんとても忙しい活動でした。しかしその分この活動を通して、自分を支えてくれていた方々のありがたさに気づき、新しい友人や先生との繋がりが生まれ、忙しさとのかき合い方も学ぶことができました。さらにこの活動のおかげで、3年生の文化祭でクラスのトリウムパフォーマンスの監督を務めることに繋がりました。さらに卒業アルバムを表紙の題字を書かせてもらうこともできました。今後この経験がどんなことにつながっていくか、楽しみです。



野村 涼平

八幡市立男山第二中学校出身
自然探究科
22期生
神戸大学 工学部 市民工学科

僕は2年生の4月に、元々いた海外研修委員に加わる形で宿泊研修委員になりました。僕のいた長崎コースは委員が2人しかいなかったため、副コース長としてコース長と協力しながら、コース別会の準備をしたり、旅行社の方との面談に臨んだりしました。

それとは別に、しおり作成を中心となって進めました。航空機内や現地で注意しなければいけないことをまとめたり、絵が得意な同級生に表紙のイラストをお願いしたり、各コースの進捗状況を確認したりするなど、とにかく自主的に行動することを求められて大変でした。しかし、自分の作ったものが実物となって手元に来たときは、とても嬉しかったです。今大学で学祭実行委員会に所属しているのも、何かもっと大きなものを作り上げてみたいと思ったからです。

堀川高校で得られる経験は、きっとあなたにとって大きな糧となると思います。自分を成長させたい人にとって、ここはこれ以上ない環境だと思います。

「チームで動く」を体験する

生徒会活動、部活動、リーダー・スタッフ活動

生徒会は、文化祭や体育祭、球技大会等、高校生活に欠かせない学校行事の企画立案と運営を担う、生徒の自主活動組織です。執行部と各ホームルームの委員を軸に多くの取組を進めています。

部活動への加入率は80%以上です。各部とも時間的にも空間的にも限られた条件の下で創意工夫をし、目標と意志を明確に持って活動しています。

多くの生徒が、さまざまな取組に関わるリーダー・スタッフ活動に積極的に参加し、目的を共有する集団の一員として運営に直接かかわることで、社会性・協調性を伸ばしています。「正解」も「満点」もない取組だからこそ、迷ったり悩んだりすることもあります。その分、やり切った時には著しい成長を実感することができます。(新型コロナウイルス感染症の影響により、変更になることがあります。)



部活動・生徒会

■ 体育系部活動

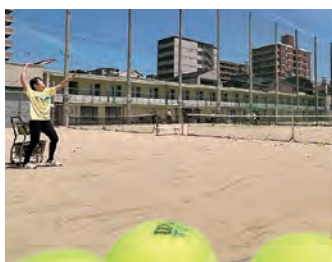
- 剣道
- 山岳
- サッカー
- テニス
- ソフトボール
- 硬式野球
- バasketボール
- バドミントン
- バレーボール
- 陸上競技
- ボート

■ 文化系部活動

- 英語
- 演劇
- 茶道
- 食物
- 文芸
- 吹奏楽
- 電算機研究
- 美術
- 軽音楽
- 自然科学
- 邦楽

■ 生徒会

- 執行部
- 新聞局
- 放送局



生徒会長より

「なんでこんなこと知ってるの!」「なんでこんなことまでできるの!」——

このBIG BOXには、高校生活に気づきと彩りを与えてくれる多様な生徒が集っています。そんな堀高生が、非日常に身を置き、相互に刺激し合い、堀川高校全体がエネルギーで満たされるイベント。それが生徒会行事です。クラスで結束して奮闘する球技大会、堀川高校中が湧き上がる文化祭、学年の垣根を超えて仲間と共に走る体育祭。これら非日常の体験はすべて、全堀高生の入念な準備やたゆまぬ努力の日々の上に成り立っています。自分たち自身で行事を創り上げるからこそ、これ以上ない達成感や言葉にしがたい感動を得ることができるのだと私は思います。

生徒会行事に加え、探究活動をはじめ、海外研修やスタッフ活動、部活動など、生徒が躍動し輝ける舞台は数多く存在します。その舞台を創り上げる「主人公」は、他でもない、皆さん一人ひとりです。思い出ただけで少しはにかんでしまうような、そんな青くて淡い思い出を一緒につくりませんか。

令和5年度前期生徒会長 田中 陽貴

◆学校説明会リーダー・スタッフ

7月と11月に行われる学校説明会は、生徒有志のリーダー・スタッフによって運営されます。受付や案内役となり来場者と接するパート、舞台やフロアで発表するパート、裏方として会を支えるパート、そしてこれらの各パートをまとめあげるリーダー代表——それぞれの生徒が互いの役割を尊重しながら自らの役割を果たす中で、「チームとして動く」ことの重要性を学んでいきます。同時に、堀川高校での学びを来場者に分かりやすく説明するためには、学校生活を通して得たことを明快に言語化する必要があるため、学校説明会はリーダー・スタッフ自身が、自らの学びや堀川高校の魅力を再認識する絶好の機会ともなるのです。



◆探究道場

堀川高校は中学生のみなさんに向けて、試行錯誤の学びの場、未来につながる探究の場を提供すべく、「探究道場」を実施しています。1・2年生がスタッフを務め、「手と頭を動かし」、テーマの立案・準備・運営まですべて生徒自身で行います。少し年下の「朋」と本気で向き合うことはとても「楽しい」機会であると同時に、自分自身の探究活動を見つめなおすきっかけにもなります。



◆町へ出よう！プロジェクト

高校生活の1095日間、その一日を外の世界とつながる機会とし、自分そして他者と対話する。そんな契機を見出すべく「堀川高校 町へ出よう！プロジェクト」が平成21年にスタートしました。その一環として、京都が世界に誇る「祇園祭山鉦巡行」のボランティアに毎年参加しています。鉦の曳き手として、また鉦の進行状況連絡や給水などの本部運営に直接かかわることを通して、歴史と伝統の重要性を肌身で体感することができます。



白井 夏葉

普通科 理数探究コース 女子バスケットボール部
16期生
龍谷大学 滋賀医科大学
滋賀医科大学 医学部附属病院

人を見る、考える、やってみる。堀川高校での経験から学び、今でも大事にしている言葉です。高校時代を振り返ると、アクティブラーニングの授業、部活、文化祭、体育祭・球技大会など、学生同士で話し合い、作り上げるものが多かったように思います。中でも部活での経験値は大きかったです。上手になれるよう、人の動きや練習をみて真似てみたり、メンバーをみて、どういう声かけが支えになれるかを考えたり、勉強と両立するために先生や友達を捕まえて教わったり…。ただ自分なりに試行錯誤しているつもりが、ステップアップできる時は必ず誰かと一緒に、“人との繋がり”が自分を成長させてくれました。

今、看護師として日々様々な人と関わっています。その人に合わせて話し方を工夫したり、その人が何を必要としているのかを考えながら働いていますが、高校時代に人とたくさん関わった経験が生きていていると思っています。そして、看護師を目指したのも、看護師になれたのも、高校時代の“人との繋がり”のおかげでした。家族、部活の仲間、クラスの仲間、先生方。自分のことのように一緒に考え、動いてくださった全員に、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

「小さな大人」として、考え、協同し、達成した感動を分かち合える人が堀川高校にはたくさんいます。みなさんも堀川高校に来て、やってみたいことを口に出してみてください。きっと素敵な人達と最高の経験ができると思いますよ！



里見 優羽

普通科 人文探究コース 女子バレーボール部
20期生
京都大学 文学部 人文学科

高校時代、特に力を注いだのが学校説明会です。私は、1年生の11月と2年生の7月の計2回、全体副代表として学校説明会の運営に携わりました。学校説明会は、校内・校外ともに多くの人が関わる行事ですので、多方面に気を配りながら活動しなければなりません。正直なところかなり苦労しましたし、悩みは尽きませんでした。しかし、他のリーダーたちと何度も話し合いを重ねたり、多くの先生たちと仕事をさせていただいたり、堀川ならではの貴重な経験ができました。そんな学校説明会ですが、リーダーたちが活動するのはたったの1、2か月ほど。とにかく密度が濃いのです。その分、仕事を通して関わった同級生や先生の中には、説明会後も懇意にしてくれた人もいます。彼らのおかげで、長く辛い大学受験を乗り越えられたと言っても過言ではありません。

自分は現在大学生ですが、これからどういう道に進もうとも、何とかできるよう気がしています。それは、堀川での学びが自分の根底にあるから、そして、堀川で多くの素敵な人たちに会えたからです。今振り返ってみても、あれほどまでに充実した日々は、きっとこの先送れないような気がしています。それほどまでに、堀川で過ごした3年間は、自分にとってかけがえのないものなのです。みなさんも、人生を通して付き合っているような仲間に、そして、まだ見ぬ自分の可能性にぜひ出会いに来てください。



岩城 桜佑

南丹市立殿田中学校出身
自然探究科
22期生
京都府立医科大学 医学部 医学科

僕は学校説明会の運営を統括する役割を担いました。スタッフ募集から当日のリスクマネジメントまで幅広い役割に携わりましたが、そこで得た最も大きな知見はリーダーは相手の無意識までも意識する必要があるということです。例えばリーダーがとても忙しそうに見えるとしても、すると、無意識のうちに周囲の人はその人に伝えたいことや疑問があっても話しかけにくくなります。その状態が続いてしまうと組織の一体感が薄れてしまいます。だからリーダーはどれだけ忙しくても意識的に余裕を持って振る舞う方が良いです。このような考え方は物事をメタ的に捉えるという点であらゆる活動に通じます。いわば一生モノの力です。堀川高校では大学入試が終わっても残り続ける発想の転換や気付きの種がたくさんあります。中学生の皆さん、ぜひ一度、その一つである学校説明会にお越しください。そこで、生徒スタッフの姿を見ていただきたいと思います。



山口 貴也

長岡京市立長岡中学校出身
自然探究科 陸上競技部
22期生
京都大学 工学部 物理工学科

私が所属していた陸上競技部は生徒主体で練習メニューを組むというのが一つの特徴でした。中学までは先生から与えられたメニューを受動的にこなすだけだったのが、高校になり主体的に、能動的にメニューを行うことが出来るようになりました。そのおかげで、練習一つ一つの意味を考えながら練習したり、周りの仲間と積極的なコミュニケーションをとったりすることが出来ました。また、勉強との両立については、部活を言い訳にしないという気持ちを常に持ち続けていました。私が3年間を通じて学んだことは、常になにかを両立させることです。私にとってそれは、部活と勉強でした。堀川高校ではさまざまな活動に携わることが出来ますが、それぞれやり切れないまま終わってしまってもったいないです。ぜひ周りの仲間たちと協力しながら、両立を実現してください。その方法を学ぶことができるのも、堀川の魅力だと思います。

夢の実現に向かって

遠い未来と近い未来

進路を考える。それは一回限りの人生をどのように生きるかについて考えることです。自分の未来をどのようにつくり実現していくかを生徒に問いかけること、そして生徒の夢の実現に向けて支援すること、この二つが堀川高校の進路指導の根幹です。

進路を考えることは自己実現を図ることであるとともに、他者・社会との関わりを考えることでもあります。卒業後に歩む人生、つまり「遠い未来」と、それを叶えるために見据える「近い未来」と、その両方を見つめてほしいと考えています。

二兎を追う

学問研究に向けた基本的な能力や姿勢を培うことと、希望する大学に合格し、学び続けることのできる学力をつけること。この「二兎」を追い求め、達成することによって取組の質を上げ、より高い成果を収めることができると考えています。

全体指導と個別指導

学年責任者である学年主任、および各クラスのHR担任6名、学年担任2名で担任団を構成し、各学年の指導にあたっています。担任団があらゆる指導を主導し、各部署がそれを支えます。担任団が中心となってガイダンスやアセンブリーを実施し、生徒全員に対する指導を進める一方、個々の生徒の学習状況や進路について共通理解をはかる進路検討会を実施し、学校全体で生徒一人ひとりを支援します。HR担任との徹底した個別面談を中心に多面的な指導を実施しています。

令和5年度入試結果

令和4年度卒業生(22期生)241名 ※カッコつき数字は内数を表す

■国立4年制大学	令和5年度入試						
	普人	普理	人間	自然	現役計	過年度	合計
帯広畜産大					1	1	1
北海道大				3	3	2	5
東北大					1	1	1
筑波大	1			1	2	1	3
千葉大				2	2	2	2
東京大			1	4	5	3	8
	文科二類		(1)		(1)		(1)
	文科三類				(1)		(1)
	理科一類			(3)	(3)	(1)	(4)
	理科二類			(1)	(1)	(1)	(2)
一橋大					1	1	1
金沢大	1			1	2	1	3
福井大					1	1	1
	医	医			(1)	(1)	(1)
信州大			1		1	1	2
静岡大					1	1	1
名古屋大	1				1	1	2
滋賀大	1		1	1	3	1	4
滋賀医大		1		1	2	1	3
	医	医		(1)	(1)	(1)	(2)
京都大	2	1	8	26	37	22	59
	文		(4)		(4)	(2)	(6)
	法	(1)	(2)		(3)	(2)	(5)
	経済	(1)	(2)		(3)	(1)	(4)
	教育				(1)	(1)	(1)
	総合人間			(2)	(2)	(1)	(3)
	理	(1)		(8)	(9)	(1)	(10)
	工			(12)	(12)	(6)	(18)
	医	人間健康科学			(1)	(1)	(1)
	薬				(2)	(2)	(2)
	農		(4)		(4)	(5)	(9)
京都教育大	2				2	2	2
京都工芸繊維大		2		3	5	2	7
大阪大		2	3	10	15	11	26
	文		(1)		(1)		(1)
	外国語				(1)	(1)	(1)
	法		(1)		(1)	(2)	(3)
	経済		(1)	(1)	(1)	(1)	(2)
	人間科学		(1)	(1)	(1)	(1)	(2)
	理	(1)		(1)	(2)	(2)	(4)
	工			(5)	(5)	(3)	(8)
	基礎工			(1)	(1)		(1)
	医	保健／看護学	(1)	(2)	(3)	(1)	(4)
神戸大	2	2	3	9	16	6	22
	文		(1)		(1)	(1)	(1)
	法	(1)			(1)	(1)	(2)
	経済			(1)	(1)	(1)	(1)
	経営	(1)		(1)	(3)	(3)	(3)
	国際人間		(1)		(1)	(1)	(1)
	理		(1)	(1)	(1)	(1)	(2)
	工	(1)		(2)	(3)	(2)	(5)
	医	医			(1)	(1)	(1)
	医	保健／看護学		(2)	(2)	(2)	(2)
	農	(1)		(2)	(3)		(3)
奈良女子大	2				2	2	2
岡山大	1				1	1	1
広島大				1	1	1	2
徳島大					1	1	1
九州大	1				1	1	2
長崎大					1	1	1
琉球大				2	2	2	2
	医	医		(2)	(2)	(2)	(2)
計	11	12	16	64	103	61	164

■中学校	令和5年度入試						
	普人	普理	人間	自然	現役計	過年度	合計
防衛医科大学校		1			1		1
防衛大学校					1		1
計		1		1	2		2

■専門学校	令和5年度入試						
	普人	普理	人間	自然	現役計	過年度	合計
HAL 大阪		1			1		1
計		1			1		1

■公立4年制大学	令和5年度入試						
	普人	普理	人間	自然	現役計	過年度	合計
国際教養大	1				1		1
東京都立大					1		1
都留文科大					1		1
岐阜薬大					1		1
名古屋市立大					3		3
	医	医			(1)	(1)	(1)
滋賀県立大	2	5		1	8	1	9
福知山公立大			1	1	2		2
京都市立芸大					2	2	2
京都府立大	1	1		2	4		4
京都府立医大				5	5	2	7
	医	医		(5)	(5)	(2)	(7)
大阪公立大	1	1	2	10	14	8	22
兵庫県立大	1	1			2	1	3
奈良県立医大	1				1		1
奈良県立大			1		1	1	2
九州歯大					1	1	1
計	7	8	4	19	38	22	60

■私立4年制大学	令和5年度入試						
	普人	普理	人間	自然	現役計	過年度	合計
東北医薬大					1		1
	医	医			(1)	(1)	(1)
国際医療福祉大				1	1		1
北里大				(1)	(1)		(1)
慶応義塾大				1	1	3	4
国際基督教大	1				1		1
上智大					1	1	1
成蹊大	1				1		1
成城大					2	2	2
東京医大				1	1		1
	医	医		(1)	(1)		(1)
東京慈恵会医大				1	1		1
	医	医		(1)	(1)		(1)
東京理大				4	4	9	13
東邦大				1	1		1
	医	医		(1)	(1)		(1)
法政大	1				1		1
明治大	1			1	2	3	5
早稲田大			2	2	4	10	14
金沢医大				1	1		1
	医	医		(1)	(1)		(1)
豊田工大					2	2	2
成安造形大					1	1	1
長浜バイオ大		1			1		1
大谷大	1	3	2		6		6
京都産業大	7	7	3	2	19	6	25
京都女子大		1			1	3	4
京都芸術大	1			1	2		2
京都織大		10			10	7	17
京都薬大		4			4	6	10
京都光華女子大		1			1		1
同志社大	9	2	24	33	68	53	121
同志社女子大		1			1	2	3
ノートルダム大					2	2	2
佛教大	4				4	2	6
立命館大	19	15	16	37	87	62	149
龍谷大	23	23	2	2	50	6	56
嵯峨美大					1	1	1
大阪医薬大		2		1	3	1	4
	医	医		(1)	(1)		(1)
大阪工大		6			6	2	8
大阪産大		14			14		14
大阪歯大					1	1	1
大阪電気通信大		4			4		4
大阪大谷大					1	1	1
関西大	10		4	7	21	8	29
関西医大				2	2		2
近畿大	14	3	5	4	26	23	49
摂南大		2			2		2
関西学院大	9	1		1	11	1	12
甲南大		2			2		2
兵庫医大				1	1	1	2
	医	医		(1)	(1)	(1)	(2)
川崎医療福祉大				2	2		2
計	101	102	58	107	368	220	588

22期生 (令和4年度卒業生) から後輩たちへ



具 智優

京都市立西賀茂中学校出身
普通科 人文探究コース 女子バスケットボール部
神戸大学 経営学部 経営学科

堀川高校と聞くとおそらく多くの方が、「頭が良く、勉強に一生懸命取り組む教育熱心な学校」という印象や、また中には堅苦しいような印象をお持ちの方もいるかもしれません。私自身その一人でした。ですが堀川高校で過ごした3年間で、そのような印象は吹き飛び、今では自分を成長させることのできる、最高の学びの場所だと自信を持って言えます。

私は勉強が得意ではなく、また消極的な性格なので、入学当初は不安だらけの日々でした。ですが、勉強のみならず部活動や探究活動に全力で取り組む仲間達に感化され、負けじと積極的に物事に取り組み少しずつ自分に自信を持つようになりました。さらに、先生方の手厚いサポートのもと、自分の進路実現に向けてまい進できるようになりました。

堀川で仲間と学び、笑い、何事にも全力で取り組むことができるとても幸せでした。

堀川高校はあなたの期待をはるかに上回る素晴らしい学校です。個性豊かな仲間と先輩と先生方とそして新しい自分と出会い、充実した高校生活を送ってみてはいかがでしょうか。



川村 愛実

京田辺市立大住中学校出身
自然探究科 サッカー部
京都大学 工学部 電気電子工学科

堀川高校での3年間はたくさんの成長とたくさんの出会いがあった素敵な時間でした。

成長できたことにはもちろん勉強も含まれますが、それ以上に堀川高校の独自の活動のおかげで人として成長することができました。特に探究活動と文化祭はとても有意義なもので、探究活動では論理的に考える力を、文化祭では人と協調する力を身につけられました。

また、私が堀川高校で出会った先生方と仲間は、それぞれいろんなことに興味を持っていてそれを誇りに思いお互いに応援しあう人たちでした。そんな周囲の人たちのおかげで、面白い話をたくさん聞くことができ自分が面白いと思うことを躊躇せずに話すことができました。個性的で素敵な先生方と仲間感謝しています。

中学生のみなさんも、ぜひ堀川高校で素敵な高校生活を送ってください。



田村 駿

京都市立洛北中学校出身
普通科 人文探究コース 軽音楽部
京都大学 法学部

「堀川高校に入って良かった」受験を終えてそう思いました。堀川高校は学生の学習意欲に真摯に応えてくれます。何かについて学びたいと思った時にいつでも気軽に質問できる先生方や、共に高め合える仲間がいます。そういった人々との関わりは、人としての成長を促してくれます。僕が特に成長を実感したのは、3年生の時の文化祭でした。クラス全員でアトリウムパフォーマンスをもっと良いものにするにはどうしたら良いかを真剣に話し合い、時にはぶつかり合う、そんな経験が出来るのは生徒一人一人が何事にも本気で取り組む堀川高校ならではの醍醐味だと思います。皆さんも是非、堀川高校で刺激的な日々を過ごしてみてください。



北 雪乃

城陽市立城陽中学校出身
自然探究科
京都大学 農学部

堀川を語る上で欠かせないのは、やはり文化祭です。私は3年間、クラスでの文化祭の準備を統括する文化委員を務めました。1・2年生では演劇、3年生ではアトリウムパフォーマンスに向けて準備をする中で、思い通りにいかないことは山ほどありました。例えば、人により文化祭にかける熱量に差があることからクラスがまとまらない、お互いに理想を追求して妥協できず衝突する。でもなぜか文化祭直前になると、全員が同じ方向を向き、全力で取り組む雰囲気になってくる。私は1年間でその時期の堀川が1番好きでした。

苦しんで泣いたことも、嬉しくて喜びを爆発させたこともあった3年間。それらすべてを含めて堀川でよかったと思います。これから先どんな困難があっても、堀川の3年間で得た、思い出という言葉で表現するには物足りないものが前を向く力になると自信を持って言えるからです。みなさんも、そんな堀川高校で高校3年間を過ごしてみませんか。



横井 陽香

木津川市立木津第二中学校出身
自然探究科 バドミントン部
京都府立医科大学 医学部 医学科

堀川高校で出会う人達は、皆個性あふれる人達です。自分とは違うことに興味を持っている人や自分には思いもつかないような考えを持つ人に出会うことができます。そういった人達と関わるなかで、沢山の刺激を受け、新たな観点や気付きを得ることができると思います。

探究活動では、結論までの過程をどのように導いてよいか分からず、正直、辛いと思うときもありました。しかし、今自分は何が分かっているのか、どのような実験を必要としているのか、といったことを順序立てて考え、それを言語化することができるようにしました。また、文化祭ではクラスの皆で協力しあい、一つの作品を創り上げる大変さと、それを乗り越えた後の言葉にできない喜びを感じることができました。

中学生の皆さんにも、堀川高校で様々な人と出会い、自分の興味関心に熱中できる、そんな環境で高校生活を送って欲しいと思います。



大野 ゆら

京都市立下京中学校出身
普通科 理数探究コース バドミントン部
大阪大学 理学部

中学生のみなさんは堀川高校に対してどんなイメージを持っているでしょうか。中学生当時の私は、とにかく勉強ばかりをしていると思っていました。たしかに、堀川高校では授業の進度が速く、予習復習を行わなければなりません。しかし、それだけではなく探究活動、文化祭の準備、部活など、勉強と他のことの両立が求められます。こう聞くと、堀川高校の生活は大変で不安に思うかも知れませんが、その必要はありません。なぜなら、みなさんもこのような大変な毎日が必要だと感じるようになるからです。それは、助け合える友達や、生徒の考えを尊重して自由な環境を与えてくれる先生方、ひとつのことを成し遂げるまでに得られる達成感など、堀川高校だからこそある様々な要因による魔法だと思っています。中学生のみなさん、ぜひ堀川高校で意義のある3年間を過ごしてください！



副島 岳大

宇治市立宇治中学校出身
自然探究科 電算機研究部
京都大学 理学部

堀川高校は思いがけない出会いの場です。属する生徒は多様で、彼らは皆違った見方で物事を捉えています。異なる生まれ、異なる背景、異なる性格をもった本来なら交わらないような人々たち。しかし「堀川高校」という枠組みによって私たちは3年間同じ場所で学生生活を送ることになります。このことが堀川高校最大の魅力です。異質なものの率直な交流は必ず自分の世界を広げてくれます。交流といってもそんな堅苦しいものではありません。放課後に残って友だちと他愛もない話をする。そんな当たり前のことでもこの高校ではとても刺激的です。実際間違いなく今のわたしを形作っているのは堀川高校での同級生たちとの何気ない会話です。例えばニュースの問題の、その裏側まで詳しく知る者がいたり。雑談が楽しくて時間があっという間に過ぎ去るのは玉に瑕ですがこのような環境はすごく貴重です。最後に堀川高校はあくまで機会を提供してくれる場所に過ぎません。ですが自分と全く異質な他者を受け入れ、面白い気持ちがあればこれほどに楽しい高校はないと思います。そういうのが好きな方は是非。



矢野 賢

京都教育大学附属京都小中学校出身
自然探究科 山岳部 軽音楽部
京都大学 工学部 地球工学科

探究活動とは何か。その中で何を学んだか。なぜ取り組むのか。そんな問いには、今になっても、明確な答えなど持ち合わせていません。

しかし、自信を持って、私が堀川高校で得たと言えるものがあります。それは、「何か一緒にやってみよう」と思わせてくれる仲間です。探究活動の際、私の拙い論文を読んで、真剣に意見をくれた友達、授業中気になった箇所と一緒に考えてくれた友達、文化祭中ボロボロになりながらも、最終仕上げを手伝ってくれた友達など、一つ一つの行事や活動の中で意見を交わした仲間がいました。そしてその存在が、自分の気持ちを駆り立てる原動力になり、今後も自分の「知りたい」を広げてくれる存在であると感じています。

仲間との出会いのきっかけは、行事の多さのみでも明らかです。きっと皆さんも、堀川高校での生活を通して、自身の心を動かす仲間に出会えるはずですよ。

若者たちが飛翔する場 THE NEST OF YOUTH

A BIG BOX with Universal Design

1999年に完成して以来、若者たちの静と動を育ててきたBIG BOX。
南館と北館を結ぶガラス屋根の空間「アトリウム」では、多くのドラマが生まれました。
ここは、さまざまな経験を通して、一人ひとりの成長を見守る場です。



講堂（北館5階）

一学年の生徒全員を収容できる講堂は、アセンブリー・講演会・生徒の発表会などさまざまな行事に利用されています。特に文化祭では、クラス劇の上演で大変盛り上がりがあります。



アリーナ（北館4階）

バレーボールのコート2面分の大きさがあり、体育の授業や部活動を行う体育館として使用します。また、入学式や卒業式などの式典や全校集会の場でもあります。舞台横の壁には、卒業記念品の校歌が飾られています。



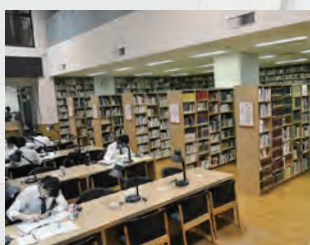
コンピュータールーム（北館3階）

一人一台の情報端末に加えて、LL機器・視覚機器を備えたコンピュータールームが2室（CALL教室・CAI教室）あります。校内のすべての教室とネットワークにつながります。情報をいち早くとらえ、世界に発信できる空間です。生徒全員がアカウントをもち、探究活動の論文作成にも活用しています。



ラーニングcommons（北館2階）

図書館の2階が改装され、2018年4月にオープンした最新の学習スペース。様々な形の可動式机、ホワイトボード、ノートパソコンを完備しています。授業中、放課後を問わず、学習や探究活動で活用され、主体的で活発な議論が行われています。



ルーム・エコ・ライブラリー（北館1・2階）

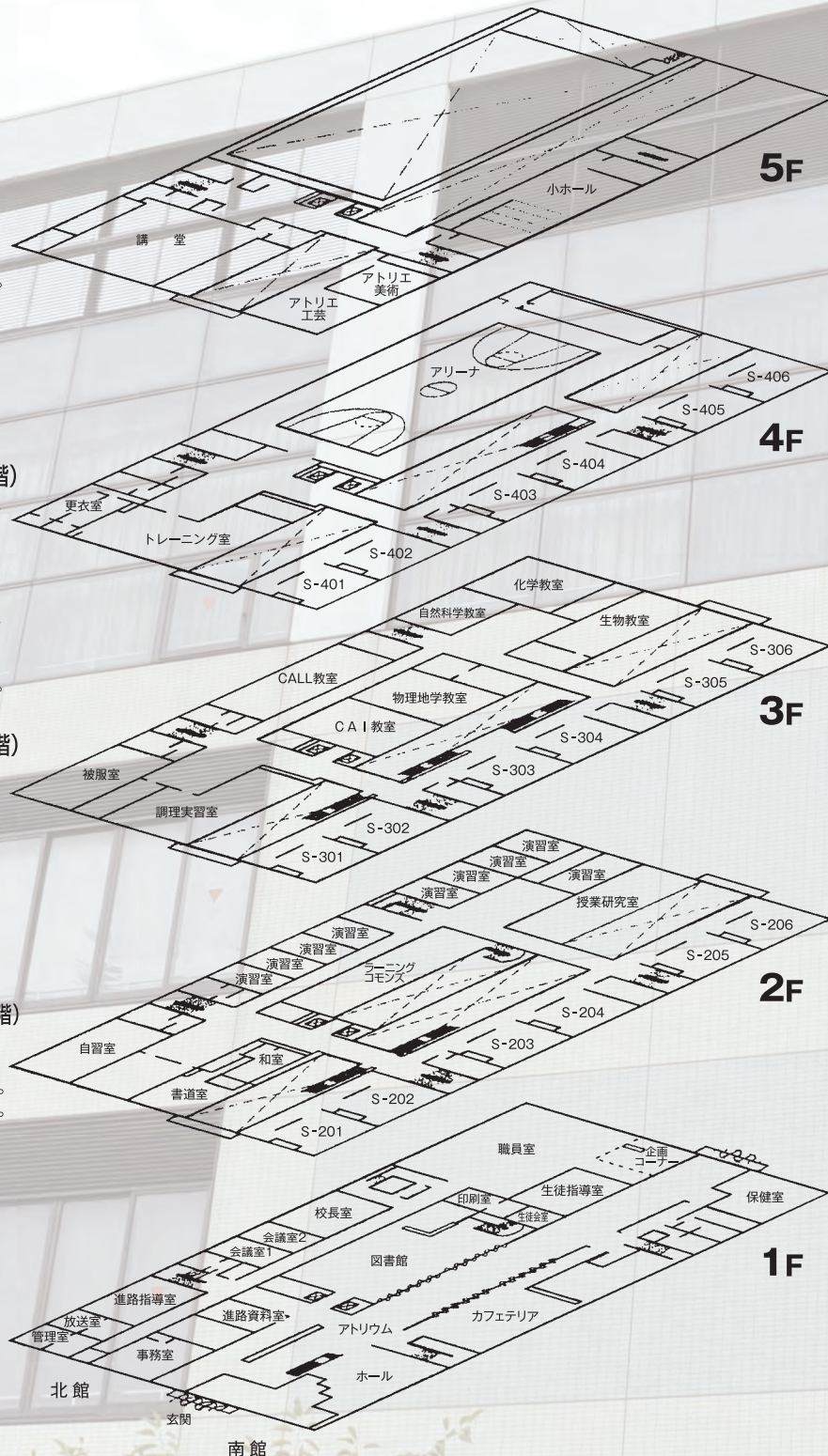
蔵書は約4万冊。LED照明（ルーム株式会社寄贈）を用いるなど環境保全に配慮した図書館です。放課後などは自習に利用できます。



進路資料室（北館1階）

ガラス張りの資料室には大学進学に必要なデータがいっぱい。進路希望をソフト・ハード両面から支えます。向かいの進路指導室には、個別相談のためのカウンセリングブースが4室あります。

本館配置図



屋上天文台

北館屋上に自動導入式天体望遠鏡を設置しています。「地学」・「探究基礎」の授業や自然科学部の終夜観測、「コミュニティカレッジ天体観望会」などで活用しています。



小ホール（南館5階）

主に音楽の授業で使用します。視聴覚教室・スタジオとしての機能もあります。放課後には吹奏楽部や軽音楽部が使用することもあります。



HR教室（南館2・3・4階）

視聴覚教室並のオーディオビジュアル機器を配備。毎日使う教室だからこそ、最適な設備を考えました。



演習室 7・8（北館2階）

2019年4月に改装された学習スペース。全面ホワイトボードで、机椅子は可動式。高性能のプロジェクターも備え付けられており、新しい学びの形に対応します。



カフェテリア（南館1階）

みんなと一緒に語らいながらのおいしい昼食のひとときを約束する、楽しい憩いの空間です。放課後は生徒のミーティングやコミュニケーションの場にもなります。



京都賞コーナー（アトリウム）

稲盛財団による「京都賞」の受賞者は、皆が世界のトップランナー。校内で行われた受賞者による特別授業を記念して受賞者の業績を紹介するコーナーを設けました。世界を身近に感じることができます。



フーコーの振り子（アトリウム）

2003年に設置されたフーコーの振り子は地球の自転を証明する実験装置です。常設の振り子として、堀川高校のシンボルとなっています。



本能館 Honnoh Kan

堀川高校の東、油小路蛸薬師にあった元本能小学校の跡地を活用して設立された「本能館」。4階建ての施設は、探究活動スペースと第2体育館（本能ホール）から成ります。ここでもまた、多彩な探究活動が展開されます。



Honnoh Hall（1階）

本能ホール

主に体育の授業と放課後の部活動に使用しています。それ以外に生徒の研究発表や集会の場としても使用しています。



Presentation Hall-1・2（3・4階）

プレゼンテーションホール1・2

それぞれ100人を収容できる多目的ホール。講演会や大人数の授業の場として、また机・椅子を収納して探究活動のポスター発表会の会場としても使用しています。



Science Floor（4階）

理数系探究活動のフロア。各実験室ではグループまたは個人の興味・関心に基づいた実験や観察を行います。ALでは、高速液体クロマトグラフィーをはじめ高度な機器を活用して分析や測定実験を行います。



PL
物理実験室
Physics Laboratory

CL
化学実験室
Chemistry Laboratory

BL
生物実験室
Biology Laboratory

ESL
地学実験室
Earth Science Laboratory

AL
分析室
Analysis Laboratory



Culture Floor（3階）

文系探究活動のフロア。4室のセミナールームがあり、プロジェクトをはじめとする最新の視聴覚機器が備え付けられています。



Seminar Room-1~4
セミナールーム 1~4



堀川から「世界」へ

HORIKAWA for the World

渚にて

来島 宣礼

みぎわでは

雲が影を描き

風と波が光を揺らし

流れる砂が指先をなでる

とりどりのバケツが

海をすくいひっくり返す

近づき遠のき

たわむれる声

ポセイドンのスプーンで

世界中の海をかき回して

もつ一度すくってみたら

もとの水はどれだけ入ってる？

宇宙の孤独を歌い

くしゃみをした詩人は

無限の空間と極限の微細の絶対値が同じだから

海がまぶしく手をかざす

太陽は南中し

水平線は横たわり

輝きの中で

地球の子どもたちがかけまわる





交通アクセス

- ▶ 京都市バス
「堀川蛸薬師」すぐ
「四条堀川」徒歩2分
- ▶ 京都市営地下鉄
烏丸線「四条」駅徒歩12分
東西線「二条城前」駅徒歩10分

- ▶ 阪急京都線
「大宮」駅徒歩5分
- ▶ JR嵯峨野線
「二条」駅徒歩14分
- ▶ 京福嵐山本線
「四条大宮」駅徒歩5分
- ▶ 自転車
駐輪場400台

生徒募集

- 普通科(京都市・乙訓地域)
人文探究コース } 80名
理数探究コース }
 - 探究科(京都市内全域)
人間探究科 } 160名
自然探究科 }
- ※探究学科群一括募集



京都市立堀川高等学校

〒604-8254 京都市中京区東堀川通錦小路上ル四坊堀川町622-2

TEL:075-211-5351 FAX:075-211-8975

E-mail: horikawa@edu.city.kyoto.jp URL: <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/horikawa/>

令和5年度発行

